

### 第35回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和7年11月29日(土) 午前10時30分～12時
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民2名
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ (市政報告)
  - (3) 懇談(フリーテーマ)
  - (4) 閉会

#### 5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	学校のトイレについて	<p>東小金井は道幅が広く、子どもと小学校に通うのにも非常に良いと思って引越してきましたが、他の自治体と比べてみたときに、小学校の古さが少し気になっています。</p> <p>色々ホームページを見ても、トイレも古いし、これから子どもが通うのは大丈夫だろうかと思っており、そこに少しお金をかけていただけると有難いです。もちろん今、第一小学校から順々に改築が進んでいることも知ってはいるのですが、もう少しスピードアップしていただけないかと思っています。その辺りは、いかがでしょうか。</p>	<p>学校施設は非常に老朽化しており、先ほど公共施設マネジメントについて説明いたしました。人口増加に伴って子どもが急増した時代にまとめて建てたものが、そのまま残っていたり、1回改装したり、建て替えたり、増築した校舎もあったりもするのですが、いずれにしても、全部で14校ある市内小中学校に優先順位をつけて、一つ一つ建て替えなのか、長寿命化対策なのか、部分建て替えなのか、学校によって状況は違いますので対応については決まっていけないものの、順次実施していくこととなります。その一番初めとなる第一小学校の建て替え工事について、入札を2回行い、2回とも不調となりました。これは急がなければならないことですので、次をどうするか早急に段取りをしているところですが、なかなか思うように進んでいないのが現状です。</p> <p>ただ、それはあくまで建て替えの話ですし、14校を全てと考えると何十年かかるかわかりませんが、この間、言われてきたのはトイレでした。</p> <p>そもそも、小金井市は洋便器が極端に少ない状況にあり、5、6年前の段階で、小中学校全体で見ても洋便器がまだ3割か4割程度しかなく、これはまずいということになりました。今の子どもたちは、家では洋式が当たり前になっていますので、和式ではできないという話もあり、まずは急いで洋便器に変えていくことを進め、その結果、今では全体の80%を超え、学校全体に概ね洋便器が設置されています。</p> <p>残るは、配管が老朽化している関係で、臭気問題がここ何年かの課題となっていました。清掃を念入りにするとか、配管の掃除をするということから少しずつ手を入れているところですが、どう対処していくか教育委員会と検討しています。以前に比べるとかなり状況は変わりましたが、あとは、衛生的な環境の課題が残っています。</p>
2	市内施設のトイレの温水便座化について	<p>最近よく緑町の図書館などに伺っていたこともありますが、そちらも和式のほうが多く、洋式があっても冷たくて、少し子どもが辛そうでした。トイレは皆さんが行かれるところですし、便座だけ変えるのであれば、そこまで費用もかからないと思いますので、洋式のトイレを温水便座に変更するなど、ぜひ検討していただければと思います。</p>	<p>トイレについては、どちらかというと学校で長く課題とされてきました。私も市議会議員時代に、どれだけ汚いかというようなことを調査してきましたので、トイレに関する御意見は非常によく分かります。ようやく、ある程度洋便器に替えることができ、あとは衛生環境や、快適に利用できる環境なのか否かという課題にまで辿り着けたところですので、できることから変えていけるようにしていきたいと思っています。</p>
3	ごみの分別について	<p>転入してまず困ったのがごみでした。毎日のことですし、転入前に住んでいた区部は、何でも持って行ってくれましたので、袋があのようになっています。購入する必要があるとは知りませんでした。</p>	<p>お二人とも区部から転入されたということですので、こんなに分別があるのかと驚かれたと思います。現在、多摩地域はどこの自治体も同じような感じになっていますが、その中でも小金井市は、比較的早い段階から分別を細かく行うようになっています。いくつかの理由がありますが、まず一つには、燃やすごみを減らすためです。リサイクルを推進すれば、環境への影響も少ないということで、それを突き詰めていった結果、徹</p>

			<p>底的に分別するようになりました。</p> <p>いろいろなデータはありますが、1人1日当たりのごみ排出量が少ない自治体ランキングでは、人口10万人から50万人の全国の自治体の中で、小金井市はずっとトップクラスです。これは誇るべきことで、できるだけごみを発生させないように、いろいろ工夫をしているところです。その分、非常に丁寧に分別をしなければならないということは、転入当初はなかなか戸惑うところがあると思いますので、転入されてきた方にしっかりと丁寧にお伝えできるようにするとか、分かりやすくするといったことは、必要だと思っています。</p>
4	民間学童の誘致について	<p>東小金井駅について、高架下の飲み屋さんで幾つか非常に盛り上がっているのを見たことはありますが、駅前の新しくできたビルや建物に、空室が目立つと思っています。そういった中の一つに、子どもの塾や民間の学童といったものも、ぜひ市のほうから企業誘致をお願いできればと考えています。</p> <p>家探しの中で、民間の学童を一つ基軸にして探していました。近くにはメガロス東小金井学童クラブがありますが、ただどうしても人数に限られており、入れるかどうか分からないといったところです。小平市には英語の民間学童などが結構幅広く入っていたりしますが、東小金井は、民間学童もそうですし、小学生が通うような塾の数も中央線沿いにしては、少ないかなといったところが少し気になるところです。</p> <p>私もフルタイムで働いているものですから、民間以外の学童も入れるということはもちろん知っていますが、もう少し手厚く平日も過ごさせてもらいたいと思い、お金もかけてもいいから民間学童に入れようかなと考えてはいます。そちらがもし入れなければ、事前に私立の小学校に入れるということも選択肢ではありますが、せっかく近くに公立小学校もあるので、ぜひそちらに入学して、民間の学童で送り迎えもしてもらえると助かるなというところです。</p>	<p>私が市長になったとき、民間学童は事業者がそれぞれのサービスで行っており、市が関わるようなところはありませんでした。しかし、公設の学童が満員状態なので民間の力を借りようということになり、市が補助を出して運営してもらった民間学童をつくるということで始めたのがメガロス東小金井学童クラブです。今年度からは武蔵小金井駅の近くに2か所目が、来年度からは桜町病院のほうに3か所目が、市の関わる民設民営学童として運営することが決まりました。民設民営学童はどんどん増やしていこうということで、現在、取り組んでいる最中ではあります。</p> <p>あとは、既に学童を運営しているところとうまく連携することによって、できることもあるのではないかと考えているところではありますが、今回、そういったニーズも高いのだということもわかりました。</p> <p>全て公設でという話ではないと思っていますし、公設がいっぱいだから、じゃあまた新設するというのは、税金の使い方として考える必要があると思っています。メガロス東小金井学童クラブも、概ね定員いっぱいまで推移していますし、そういったニーズがあるということも踏まえると、民間の力でカバーしてくれるのであれば、市としても有難い話だと考えています。</p> <p>もう一つは、学童とは別に放課後そのものをもっと充実できないかということです。</p> <p>今は、夏休みのような長期休暇期間中、放課後の子どもの居場所づくりをしていますので、パートで週2、3日働くという方も、夏休み期間中に子どもがずっと家にいるのであれば、週4日働いて学童に入れたほうが安心して預けられるということで、学童に預けるために週4日働くという方もおられます。でするので、状況も含めてそれぞれのニーズに応じた放課後そのもの充実させていくということを考えないという話もししています。</p>
5	教育関係事業者の誘致について	<p>財政の収入も少し見ましたが、やはり市民税がメインを占めていますので、企業誘致よりは今後も市民誘致を進めていくということなのでしょう。</p> <p>例えば、中学受験のいわゆる4大塾と言われるところだと、どうしても吉祥寺に集中しています。そこまで電車を使って通わせるのかといったところもありますし、有名な塾が近くにあれば、最近はそのを目当てで引っ越しを考える方も多いのかなと思います。</p>	<p>小金井市は企業が少なく、多摩地域の中央線沿線にある自治体の中で、市民1人当たりの法人税収は極端に少ない状況です。小金井は市域面積も狭く、法人税の仕組みでは本社がないと法人税収には繋がりませんので、そういったところが悩ましいところです。教育関係事業者を誘致してはということですが、企業の誘致は難しいところもありますので、御意見として承ります。</p>

6	リタイア後の人材活用について	<p>教育格差が大きいと、かねてより思っています。最近の受験を見ていてリスニングやスピーキングが出てくると、ああいったことは今日勉強して明日試験などというものではないから、学校の授業だけではとても学べないと思いますし、今の世の中で、恵まれた人しか塾に行けないというのは、いかがなものかとも思います。</p> <p>区部に住んでいた時は、2か所にボランティアの塾がありました。勉強したいのに様々な事情でできない人のための塾で、そうすると、学校から帰ってきて集まれる場所ができるのではないかなと思います。これは何も小金井市だからというわけではありませんが、勉強したくても塾へ行けない子どもたちを教えてくれる人は、おそらく私達のような年代ではないでしょうか。</p> <p>転入してから、高齢者の勉強会のようなものに行ったことがあります。私達の年代では、企業戦士だった人が退職後に何をしたいかわからないという人が多いのです。海外に行ったり、いろいろな研究したりしてきた人達が、生きがいとして出ている場所があればよいのではないかなと思っています。生涯教育とありますが、そういう方たちが、ボランティアで教えてあげると教える方もすごく楽しいですし、子ども達の学びにも繋がると思います。例えば、シニア食堂と合併というのは無理でしょうか。</p>	<p>全員が塾に行っているわけではなく、ご家庭の考え方や子ども自身の思いも含めて、通ってないという子もいるということも、周りから聞いて知っています。本当に経済的事情で塾へ行けないという子もいるということも聞いておりますが、最近では、いわゆる子ども食堂の中に、食べるだけでなく学習支援も一緒に行う場所も増えてきましたので、行ける子はそういうところに行っているようです。また、シニア食堂との合併というご意見ですが、シニア食堂は、市が実施しているわけではなく、任意団体として思い通りに活動されています。市としてはその活動を尊重していますので、活動内容に意見や要望を述べるものではありません。</p> <p>時間を持て余しているリタイア後の方が大勢いて、もったいないというご意見につきましては、何ができるか改めて考えてみたいと思います。</p> <p>一方で、私は、リタイアしてから地域活動に参加するのではなく、仕事が少し落ち着いてきたタイミングで地域活動に参加していき、リタイアする前から地域と関わるような仕組みを、もっと市としても働きかけないといけなと考えています。</p> <p>私はいつも「若い世代からの地域デビュー」ということを言っていますが、そういった地域のネットワークがあれば、誰かが必ず何か知っていますので、そこから色々な情報が入ってきます。そういう関係性を若いうちから作っておけば、リタイアしたり年を取ってからでも、単に地域貢献だけではなく、何か自分の力を生かす、自分のためにも生きがいにもなるということだと思います。</p>
7	都立公園の活用について	<p>保育園の入りやすさで転入を決めましたが、小金井市が保育園に入りやすいというのは、やはり転入者が少ないのだろうかと思になりました。</p> <p>小平市などは、最近タワーマンションがたくさん建っているので、保育園には全然入れませんということを言われましたが、そうであれば、もう少しこれからの財政を増やしていくためにも、ファミリー層の誘致というのは少し考えていただきたいと思っています。</p> <p>小学校の増設などが大変だったりするようですが、小金井公園という一つの大きな魅力があるのに、そこをあまり活かしていないのではないかなということが少し気になっています。私は福岡が地元ですが、そこにある国営公園では、頻繁にフードフェスタや大きなイベントが誘致されてきています。小金井公園は都の施設なので、どれぐらい誘致できるかは私も知りませんが、もう少し頻繁にイベントなどで人を呼び込むようなことがされると、とても盛り上がっていくと思います。</p>	<p>都立公園なので、市のやりたいようにはできないという制限はあったりしますし、都立公園は指定管理者が運営しており、指定管理者は自分たちの企画もそこできるということで指定管理を受けて運営していますので、市や東京都が頻繁に使用するのは難しいところもあります。</p> <p>ただ、色々連携を取っており、桜まつりなどのイベントで定期的に利用させてもらっていますし、あれだけ広い都立公園は東京都内でも珍しいので、そこを最大限生かすということは大事かなというのが一つと、あそこには、江戸東京たても園があり、あれこその他にはない施設だと思っていますので、そこをもっと活かして、小金井市を訪れる人を増やすことができないかと考えています。</p> <p>ファミリー層の誘致という点については、小金井市はやはりそこにもっと力を入れるべきだと考えてこれまで進めてきており、保育園が入りやすくなったのは、保育園をたくさん増やしたからです。ただ、6、7年前から0歳児がずっと減ってきています。それは、小金井市だけではなく、近隣の自治体も同様で、コロナの直前ぐらいから、がくと出生数が減っていますので、その影響をまろに受けている気がします。</p> <p>とはいえ、子どもの数が増えるということは、子育て世代の親が増えるということでもあり、子育て世代は若い働き世代でもあるわけですから、その世代がしっかり流入し続ける、そういうまちであるべきだと思っています。それはまちの活気もそうですし、子どもがたくさんいるというだけでも、やはりまちの賑わいというのは活性化されますし、関連する教育関係の事業者なども当然紐づいてくるわけですから、小金井市の住みやすさというのを強調することで、できることだとは思っています。</p>
8	子どもの医療費について	<p>子どもに関する医療費が、以前住んでいた区では高校生まで無料でしたが、小金井市では1回当たり200円という医療費が、今後かかっていきますし、おたふく風邪ワクチンが入っていないなど予防接種の数も以前の区より少ないのが気になります。</p>	<p>23区とは、やはり財政状況も仕組みも全然違うので、比較されるのは辛いところです。ただ、それはやはり住民の皆さんのニーズとしてあることは非常に重要ですので、なかなかすぐには叶えられませんが、色々ご意見を聞きながら、できることから進めたいと思っています。</p>

9	クラウドファンディングの活用について	先日、区部でクラウドファンディングを活用して立派な小学校を建てたというニュースをみましたが、どうしても必要なときは、クラウドファンディングを活用しては駄目なんでしょうか。	何年か前までは、クラウドファンディングというのは、お金を集める大義名分の立つことにしかできないというような認識があったのですが、今や、ありとあらゆることにクラウドファンディングを活用されている事例が散見されているので、何でもというわけにはいきませんが、そういうお金を集める算段、手段があるのだから、徹底的に活用しようということを、市役所内部で呼びかけているところです。
10	辻調理師専門学校との連携について	学芸大に、辻調理師専門学校がありますが、あそこはなかなか予約が取れないようです。あそこを何か制約を設けたうえで、月に1回あるいは2か月に1回、市報にでも載せていただいたら参加したい方がいるのではないのでしょうか。	辻調理師専門学校で、最初にケーキ店が、ついでレストランがオープンしました。ランチもそうですが、学生が調理したものを一般の方々が食べられるというものです。今も予約取れないかどうかは分かりませんが、限られた日数だったので、なかなか予約が取りにくいという話がありました。 辻調理師専門学校とは、市として連携協定を結びましたので、色々と連携してお互いにメリットとなる取組を進めていきたいと思います。現在、学校の給食調理業務の評価を、辻調理師専門学校の先生に引き受けてもらったりといった取組は進めてきたのですが、もう少し市民の皆さんに見えるような取組も進めないといけないというのは、感じているところです。
11	小金井市役所のデジタル化について	DX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル変革）に関してですが、先日、市役所で職員の方がタイムカードを打刻していらっしゃるのを見て、世の中AIと言っているのにも関わらず、紙での管理なんだと驚きました。小金井市の立地はとても良いと思いますが、その分、小さいとは思っていますので、最近は高齢者の方も電子に接している方が多いと思いますし、人が少ないのであれば、もう少し市政全体であったり市民サービスも、電子化をどんどん進めていただければと思います。	実は、今年度からようやくシステムを入れるということを進めているところです。来年度の途中くらいから、タイムカードの打刻がなくなります。背景として、小金井市はそもそもが、ICT（情報通信技術）化すら遅れており、DXという前にICT化をしなければという状況だったため、さすがに我慢できないと思い、現在DXもどんどん進めています。 元々は、新庁舎建設に併せて移転のタイミングで変更しようと、課題を先送りしてきました。そのほうが効率が良いということはありませんが、物事は思ったときにやるということが、私はとても大切だと思っており、先送りしているのは、言い訳でしかないと思うので、変えることになりました。 特に若い世代は皆さんスマホを持っているのを前提で良いと思っているので、その親和性が高い世代の使うサービスから優先的に始めるべきだと話しています。市役所がまずICT化すら遅れてきた現状もあったということと、なかなか職員も一気にやれと言われても、仕事が追いつかないものですので、順番に、かつ、できるだけスピードアップして、やるべきことをやろうという方向性で進めています。
12	こきんちゃんの周知について	こきんちゃんが、私は宮崎駿さんの作品だとは全然知りませんでした、多分作られたのは小金井市だけだろうと思うので、ぜひもっと広めてください。	わかりました。